

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第52週 (12/27-1/2) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	52週	51週	50週	49週
小児科	16	15	16	16
眼科	4	5	5	5
インフルエンザ*	23	24	26	26
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	12/27-1/2	12/20-12/26	12/13-12/19	12/6-12/12	12/20-12/26
			52週	51週	50週	49週	51週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	1	0	2
	咽頭結膜熱		0	1	0	1	24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	11	13	10	87
	感染性胃腸炎		49	120	116	117	832
	水痘		0	2	3	5	14
	手足口病		3	4	8	7	27
	伝染性紅斑		0	0	0	0	2
	突発性発しん		2	8	5	5	38
	ヘルパンギーナ		0	2	0	1	6
	流行性耳下腺炎		0	0	1	1	5
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	2
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	1	0	6
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(17例)

※新型コロナウイルス感染症16例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
梅毒	男性	50歳代	血清抗体の検出	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-80歳代	病原体遺伝子の検出等

*第52週は、梅毒1例(48)、新型コロナウイルス感染症16例(16,424)の発生届があった。

※ ()内は2021年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第52週のコメント

調査対象全ての感染症について、過去10年の同時期と比べて平均未満又は発生報告がありませんでした。

■ トピック ■

<梅毒>

2021年第51週時点の全国の届出累積数は7,790例で、過去10年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では東京都が2,422例と最も多く、次いで大阪府846例、愛知県410例の順で多くなっています。千葉県は227例であり、全国で8番目の多さとなっています。

千葉市では2021年第52週に1例の届出があり、2021年の届出累積数は48例となり過去5年と比べると最多となりました(図1)。男性25例(52.1%)、女性23例(47.9%)で、男性では20歳代から80歳代まで幅広い年齢階級で見られ、最も多い40歳代及び50歳代で男性全体の半数近くを占めている(12例:48.0%)ことに対し、女性では20歳代で女性全体の半数以上(13例:56.5%)を占めました(図2)。

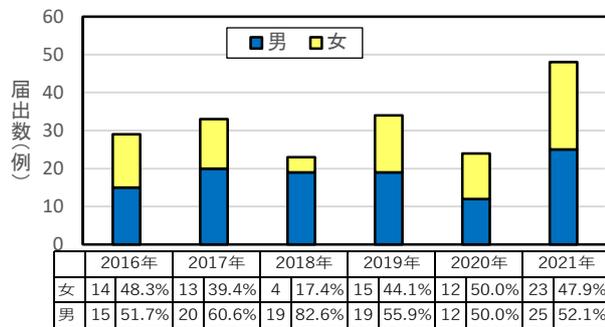


図1 年別・性別の届出数
(2016年-2021年n=191)

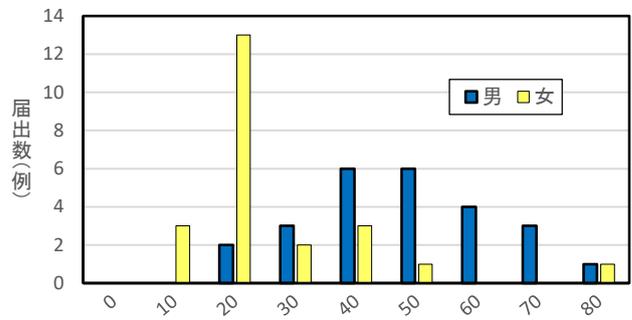


図2 性別・年代別(2021年n=48)

届出時点の病型は、男性は早期顕症梅毒第I期(以下、第I期)及び早期顕症梅毒第II期(以下、第II期)が多く、それぞれ8例(32.0%)ずつの同数で合わせて6割以上を占めていました。また、晩期顕症梅毒(以下、晩期)の届出が4例(16.0%)あり、年代は50歳代から80歳代まで各1例ずつでした。女性は第II期が11例(47.8%)及び無症候が10例(43.5%)で合わせて9割以上を占めており、第I期は1例(4.3%)でした(図3)。

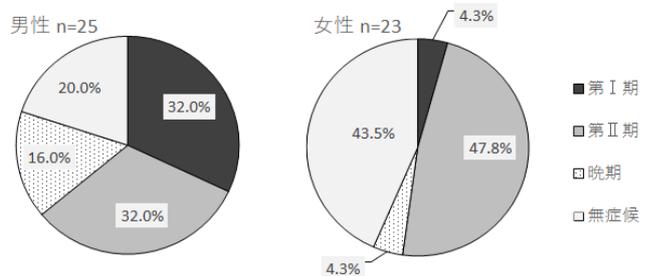


図3 2021年の梅毒患者病型別割合

2016年から2021年までの発生届出数は191例(男性110例:57.6%、女性81例:42.4%)でした。

各年における届出時点の病型が占める割合は、男性では、2017年までは第I期が、2018年から2020年までは無症候がほぼ半数程度を占めていました(表1)。女性では2017年までは第II期が、2018年には無症候と第II期が、2019年以降は無症候が半数程度を占めていました(表2)。

なお、晩期の届出数(男女の合計)は、平均して2例前後で推移していましたが、2021年は5例となりました。

表1 年別・病型別(男性)

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	届出数	割合										
第I期	8	53.3%	11	55.0%	3	15.8%	5	26.3%	5	41.7%	8	32.0%
第II期	3	20.0%	7	35.0%	4	21.1%	5	26.3%	2	16.7%	8	32.0%
晩期	0	0%	2	10.0%	3	15.8%	1	5.3%	0	0%	4	16.0%
無症候	4	26.7%	0	0%	9	47.4%	8	42.1%	5	41.7%	5	20.0%
計	15	100%	20	100%	19	100%	19	100%	12	100%	25	100%

表2 年別・病型別(女性)

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	届出数	割合										
第I期	0	0%	2	15.4%	0	0%	2	13.3%	1	8.3%	1	4.3%
第II期	8	57.1%	7	53.8%	2	50.0%	4	26.7%	4	33.3%	11	47.8%
晩期	1	7.1%	0	0%	0	0%	1	6.7%	0	0%	1	4.3%
無症候	5	35.7%	4	30.8%	2	50.0%	8	53.3%	7	58.3%	10	43.5%
計	14	100%	13	100%	4	100%	15	100%	12	100%	23	100%

梅毒は、患者数が多いこと、比較的安価な診断法があること、ペニシリン等有効な抗菌薬があること、また妊娠中の母体への適切な抗菌薬治療で母子感染が防げることなどから公衆衛生上重点的に対策をすべき疾患として位置付けられています。

無治療であっても、多くの場合、第Ⅰ期の症状は数週間で、第Ⅱ期の皮膚粘膜病変は数週間～数カ月で消退します。無治療の場合、一定数の患者が感染後数年～数十年後に晩期の症状を呈するとされています。また、感染しても終生免疫は得られず、再罹患する可能性があります。

全国的には2010年以降梅毒の報告数は増加傾向に転じており、2019年、2020年には減少したものの、新型コロナウイルス感染症パンデミックが続いている2021年の報告数は増加しています。

例年以上に梅毒の報告数が多い現状を踏まえると、今後の梅毒の発生動向を引き続き注視するとともに、感染リスクが高い集団に対して啓発を行っていくことが重要とされています。

インフルエンザ区別発生状況（定点当たりの報告数； 2021年第36週-2022年第35週）

月	9月				10月				11月				
	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	
全体	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
中央区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
花見川区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
稲毛区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
若葉区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
緑区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
美浜区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

月	12月					1月			2月				3月	
	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
全体	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									
中央区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									
花見川区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									
稲毛区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									
若葉区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									
緑区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									
美浜区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									

月	4月					5月					6月		
	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
全体													
中央区													
花見川区													
稲毛区													
若葉区													
緑区													
美浜区													

月	7月					8月								
	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	
全体														
中央区														
花見川区														
稲毛区														
若葉区														
緑区														
美浜区														

流行発生警報基準値(30.0/定点)を超えたもの

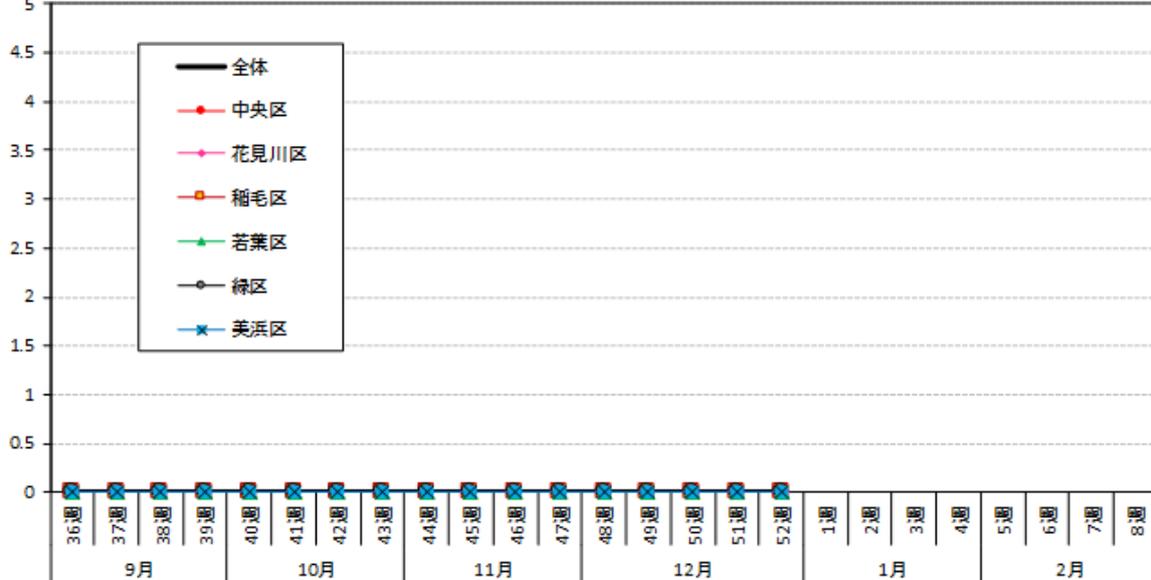
凡例: 流行発生注意報基準値・流行発生警報終息基準値(10.0/定点)を超えたもの

発生の報告があったもの

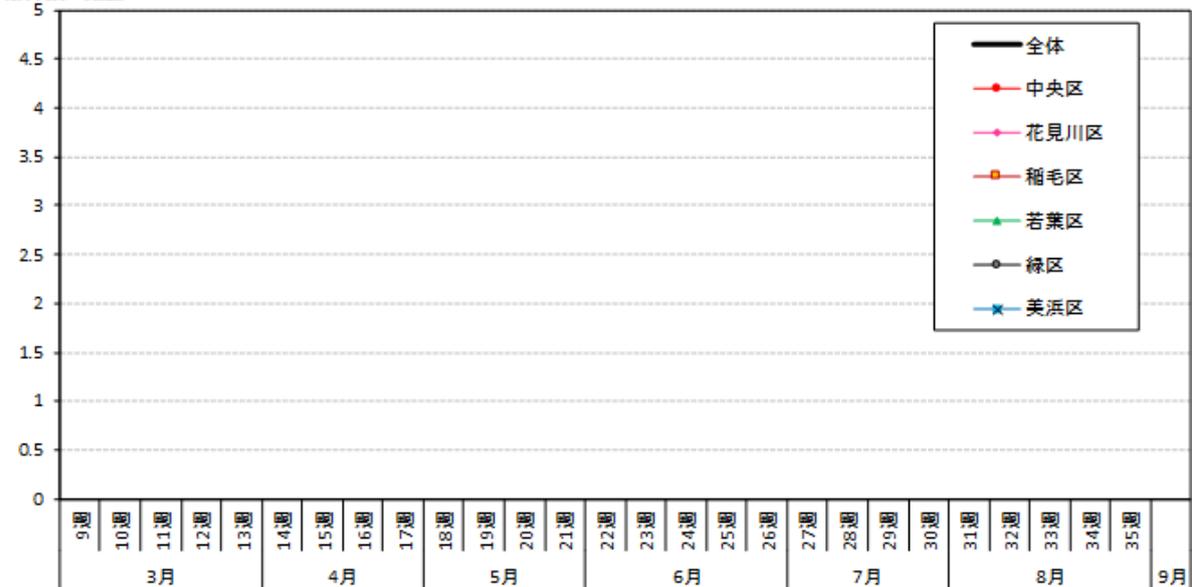
※ ここでいう「基準値」とは、国が医療機関に警報する目的で定められた値であり、千葉市はこれを流行発生の参考として市民の皆様にお知らせしています。

インフルエンザ別発生状況 (2021年第36週-2022年第35週)
 (流行発生警報開始基準値:30.0 流行発生注意報基準値:10.0)

報告数/定点

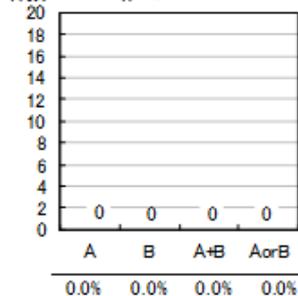


報告数/定点



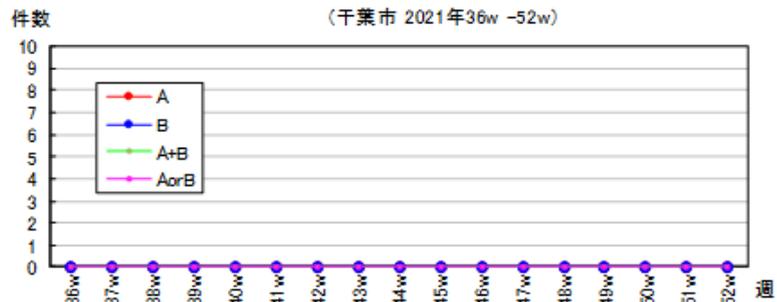
型別迅速診断結果(累積)

2021年36w-52w
n=0

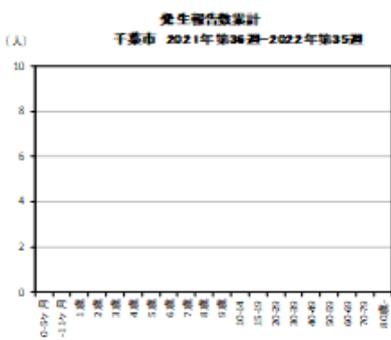


インフルエンザ型別迅速診断結果(週別)

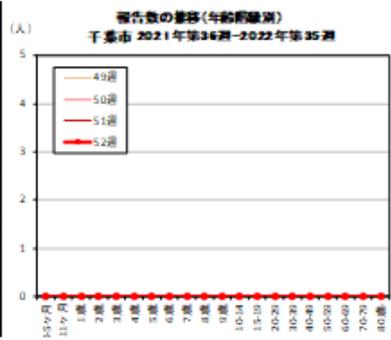
(千葉市 2021年36w-52w)



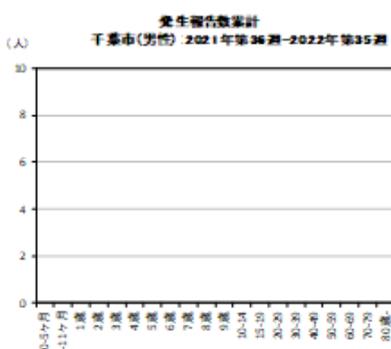
	累計	割合
0-5ヶ月	0	-
6-11ヶ月	0	-
1歳	0	-
2歳	0	-
3歳	0	-
4歳	0	-
5歳	0	-
6歳	0	-
7歳	0	-
8歳	0	-
9歳	0	-
10-14	0	-
15-19	0	-
20-29	0	-
30-39	0	-
40-49	0	-
50-59	0	-
60-69	0	-
70-79	0	-
80歳-	0	-
合計	0	-



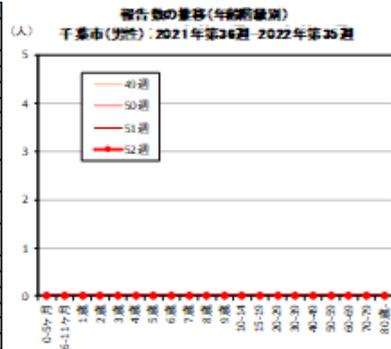
	49週	50週	51週	52週
0-5ヶ月	0	0	0	0
6-11ヶ月	0	0	0	0
1歳	0	0	0	0
2歳	0	0	0	0
3歳	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0
6歳	0	0	0	0
7歳	0	0	0	0
8歳	0	0	0	0
9歳	0	0	0	0
10-14	0	0	0	0
15-19	0	0	0	0
20-29	0	0	0	0
30-39	0	0	0	0
40-49	0	0	0	0
50-59	0	0	0	0
60-69	0	0	0	0
70-79	0	0	0	0
80歳-	0	0	0	0
合計	0	0	0	0



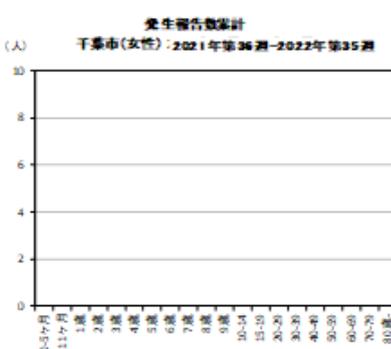
	累計	割合
0-5ヶ月	0	-
6-11ヶ月	0	-
1歳	0	-
2歳	0	-
3歳	0	-
4歳	0	-
5歳	0	-
6歳	0	-
7歳	0	-
8歳	0	-
9歳	0	-
10-14	0	-
15-19	0	-
20-29	0	-
30-39	0	-
40-49	0	-
50-59	0	-
60-69	0	-
70-79	0	-
80歳-	0	-
合計	0	-



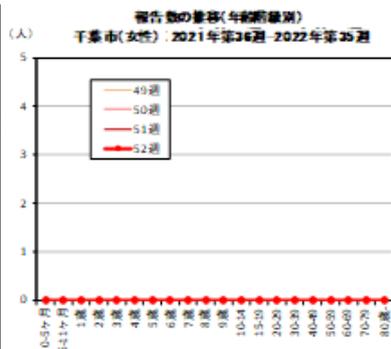
	49週	50週	51週	52週
0-5ヶ月	0	0	0	0
6-11ヶ月	0	0	0	0
1歳	0	0	0	0
2歳	0	0	0	0
3歳	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0
6歳	0	0	0	0
7歳	0	0	0	0
8歳	0	0	0	0
9歳	0	0	0	0
10-14	0	0	0	0
15-19	0	0	0	0
20-29	0	0	0	0
30-39	0	0	0	0
40-49	0	0	0	0
50-59	0	0	0	0
60-69	0	0	0	0
70-79	0	0	0	0
80歳-	0	0	0	0
合計	0	0	0	0



	累計	割合
0-5ヶ月	0	-
6-11ヶ月	0	-
1歳	0	-
2歳	0	-
3歳	0	-
4歳	0	-
5歳	0	-
6歳	0	-
7歳	0	-
8歳	0	-
9歳	0	-
10-14	0	-
15-19	0	-
20-29	0	-
30-39	0	-
40-49	0	-
50-59	0	-
60-69	0	-
70-79	0	-
80歳-	0	-
合計	0	-



	49週	50週	51週	52週
0-5ヶ月	0	0	0	0
6-11ヶ月	0	0	0	0
1歳	0	0	0	0
2歳	0	0	0	0
3歳	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0
6歳	0	0	0	0
7歳	0	0	0	0
8歳	0	0	0	0
9歳	0	0	0	0
10-14	0	0	0	0
15-19	0	0	0	0
20-29	0	0	0	0
30-39	0	0	0	0
40-49	0	0	0	0
50-59	0	0	0	0
60-69	0	0	0	0
70-79	0	0	0	0
80歳-	0	0	0	0
合計	0	0	0	0



凡例: 上位1位 上位2位 上位3位

今シーズン発生報告数の累計

	全体	男	女
0-5ヶ月	0	0	0
6-11ヶ月	0	0	0
1歳	0	0	0
2歳	0	0	0
3歳	0	0	0
4歳	0	0	0
5歳	0	0	0
6歳	0	0	0
7歳	0	0	0
8歳	0	0	0
9歳	0	0	0
10-14	0	0	0
15-19	0	0	0
20-29	0	0	0
30-39	0	0	0
40-49	0	0	0
50-59	0	0	0
60-69	0	0	0
70-79	0	0	0
80歳-	0	0	0
合計	0	0	0

累計の割合

	全体	男	女
0-5ヶ月	-	-	-
6-11ヶ月	-	-	-
1歳	-	-	-
2歳	-	-	-
3歳	-	-	-
4歳	-	-	-
5歳	-	-	-
6歳	-	-	-
7歳	-	-	-
8歳	-	-	-
9歳	-	-	-
10-14	-	-	-
15-19	-	-	-
20-29	-	-	-
30-39	-	-	-
40-49	-	-	-
50-59	-	-	-
60-69	-	-	-
70-79	-	-	-
80歳-	-	-	-
合計	-	-	-

発生報告数の推移(4週分)

	49週	50週	51週	52週
0-5ヶ月	0	0	0	0
6-11ヶ月	0	0	0	0
1歳	0	0	0	0
2歳	0	0	0	0
3歳	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0
6歳	0	0	0	0
7歳	0	0	0	0
8歳	0	0	0	0
9歳	0	0	0	0
10-14	0	0	0	0
15-19	0	0	0	0
20-29	0	0	0	0
30-39	0	0	0	0
40-49	0	0	0	0
50-59	0	0	0	0
60-69	0	0	0	0
70-79	0	0	0	0
80歳-	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

インフルエンザウイルス分離及び検出状況

(2021年第36週-2022年第35週)

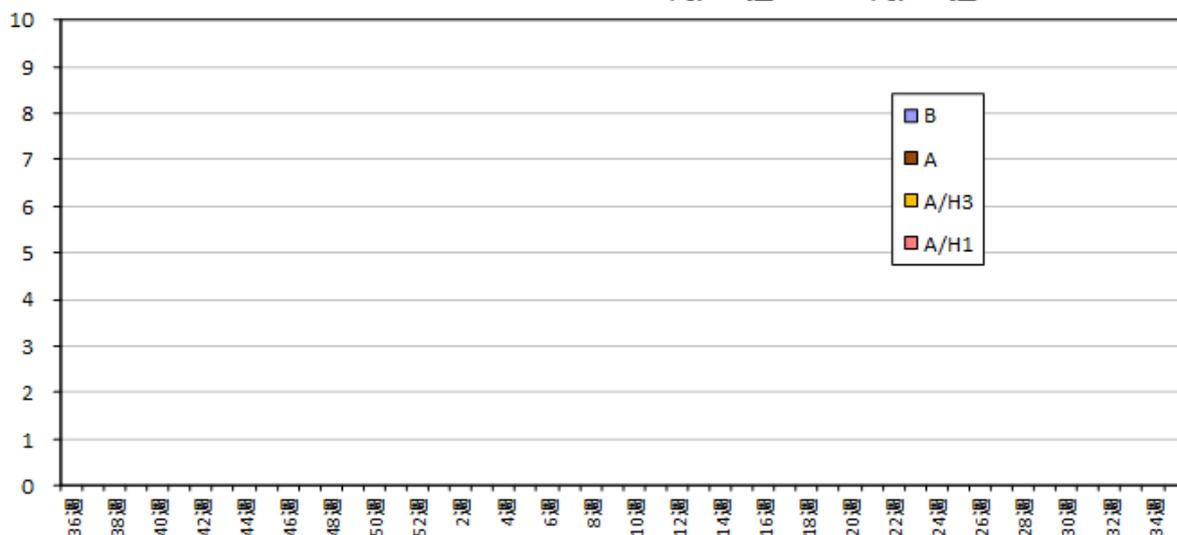
感染症発生動向調査の病原体定点に選定された医療機関から検体を収集し、ウイルス分離を行っています。
(千葉県環境保健研究所 健康科学課ウイルス検査班)

	検出 検体数	検出成績					検出 検体数	検出成績			
		A/H1	A/H3	* A	B			A/H1	A/H3	* A	B
第36週 (9/6-9/12)	0	0	0	0	0	第12週 (3/28-4/3)					
第37週 (9/13-9/19)	0	0	0	0	0	第13週 (4/4-4/10)					
第38週 (9/20-9/26)	0	0	0	0	0	第14週 (4/11-4/17)					
第39週 (9/27-10/3)	0	0	0	0	0	第15週 (4/18-4/24)					
第40週 (10/4-10/10)	0	0	0	0	0	第16週 (4/25-5/1)					
第41週 (10/11-10/17)	0	0	0	0	0	第17週 (5/2-5/8)					
第42週 (10/18-10/24)	0	0	0	0	0	第18週 (5/9-5/15)					
第43週 (10/25-10/31)	0	0	0	0	0	第19週 (5/16-5/22)					
第44週 (11/1-11/7)	0	0	0	0	0	第20週 (5/23-5/29)					
第45週 (11/8-11/14)	0	0	0	0	0	第21週 (5/30-6/5)					
第46週 (11/15-11/21)	0	0	0	0	0	第22週 (6/6-6/12)					
第47週 (11/22-11/28)	0	0	0	0	0	第23週 (6/13-6/19)					
第48週 (11/29-12/5)	0	0	0	0	0	第24週 (6/20-6/26)					
第49週 (12/6-12/12)	0	0	0	0	0	第25週 (6/27-7/3)					
第50週 (12/13-12/19)	0	0	0	0	0	第26週 (7/4-7/10)					
第51週 (12/20-12/26)	0	0	0	0	0	第27週 (7/11-7/17)					
第52週 (12/27-1/2)	0	0	0	0	0	第28週 (7/18-7/24)					
第53週 (1/3-1/9)						第29週 (7/25-7/31)					
第01週 (1/10-1/16)						第30週 (8/1-8/7)					
第02週 (1/17-1/23)						第31週 (8/8-8/14)					
第03週 (1/24-1/30)						第32週 (8/15-8/21)					
第04週 (1/31-2/6)						第33週 (8/22-8/28)					
第05週 (2/7-2/13)						第34週 (8/29-9/4)					
第06週 (2/14-2/20)						第35週 (9/5-9/11)					
第07週 (2/21-2/27)						合計	0	0	0	0	0
第08週 (2/28-3/6)						(再掲)薬剤耐性株	0	0	0	0	0
第09週 (3/7-3/13)											
第10週 (3/14-3/20)											
第11週 (3/21-3/27)											

* A: 亜型不明

インフルエンザウイルス分離及び検出状況

千葉県 2021年第36週-2022年第35週



インフルエンザウイルス分離及び検出状況

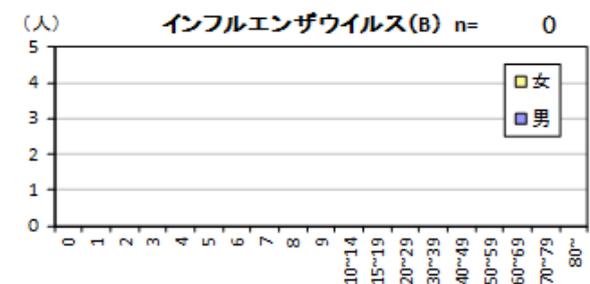
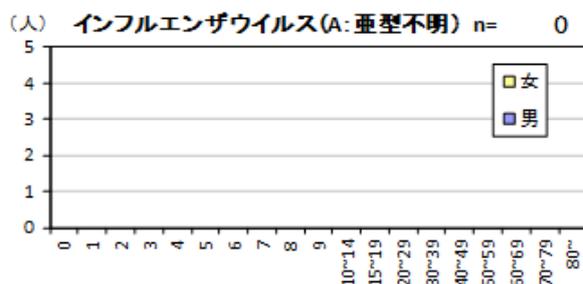
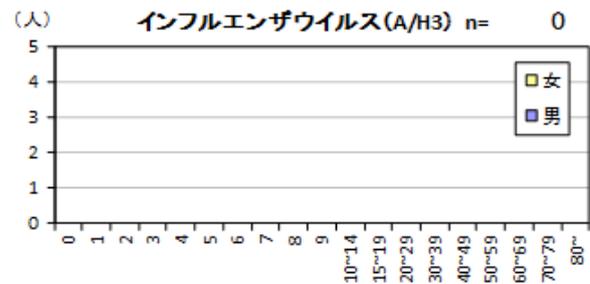
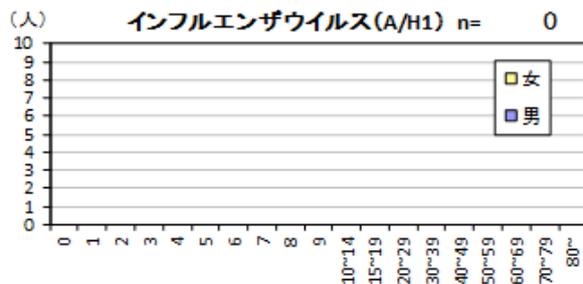
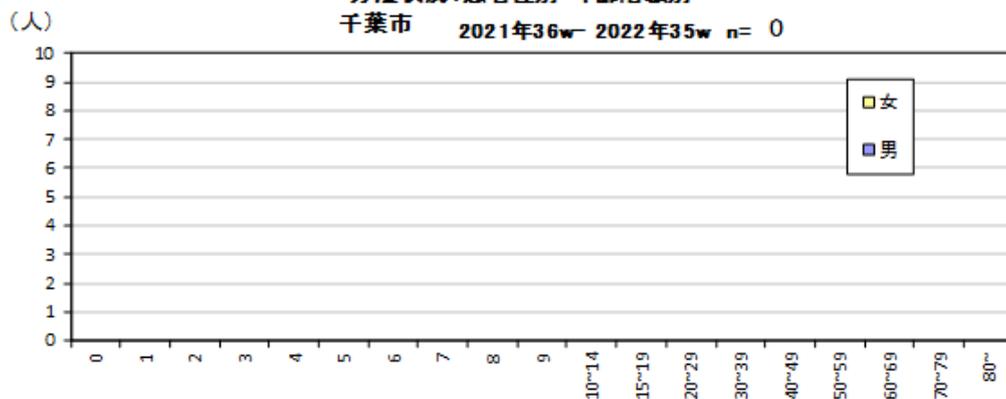
患者性別・年齢階級別(千葉市 2021年第36週-2022年第35週)

	全体			A/H1			A/H3			A(亜型不明)			B		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30~39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40~49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60~69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70~79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80~	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザウイルス(A/H1、A/H3、A(亜型不明)、B)

分離状況:患者性別・年齢階級別

千葉市 2021年36w-2022年35w n= 0



警報・注意報発生システムについて

注意報レベルは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

警報レベルは大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未満で終息します。

詳細は、以下のページを参照ください。

<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

